

## SDS - 2 電波スイッチ説明書

### SDS-2 の概要

本器は遊技機専用の小型異常電波感知器です。

ナンバーランプの不正入力コネクタに接続するだけで、電源配線は必要ありません。

又、幅広い感度調整が簡単にできますので設置環境に合わせた設定が可能です。

小型リレーを直接駆動できるシステムとして拡張できます。



#### 1、仕様

- ( 1 ) 感知周波数  
100MHz ~ 2.4GHz ( テスト確認済みの範囲 )
- ( 2 ) 感知距離  
0.2 ~ 2m ( 3W トランシーバーで測定 )
- ( 3 ) 最小感知時間幅  
1/2000SEC ( ステルス対応 )
- ( 4 ) 最大出力時間  
約 1.5 ~ 2SEC ( 制御電圧 5 ~ 35V )
- ( 5 ) 制御可能範囲  
入力電圧 5 ~ 35V  
制御電流 Max 20mA
- ( 6 ) 飽和電圧  
Max 0.8V ( 500  $\mu$ A 時 )
- ( 7 ) 外形寸法  
ボックス 40(H)  $\times$  30(W)  $\times$  20(D)  
( アンテナ端子部は除く )

#### 2、設置方法

- ( 1 ) SDS - 2 のアンテナが折れ曲がったり湾曲してない事を確認して下さい。
  - ( 2 ) 遊戯台裏パックの適所に両面テープやワイヤーステッカー等で軽く固定します。アンテナ部が金属部や他の配線類から 5 cm 以上位離れるよう注意して下さい。
  - ( 3 ) SDS - 2 にコネクタをナンバーランプの不正入力コネクタに差し込み接続します。
  - ( 4 ) すでに不正入力を使用されている場合は、付属の分岐ハーネスを使えば並列に入力接続する事ができます。( 出力分岐はできません )
  - ( 5 ) パチスロ器はスタートレバーの近くが電波による影響を受け易いので、其の近くに SDS - 2 を取り付けるのが効果的です。
- ( 別紙添付、パチスロ取付例の写真を参考にして下さい。 )

### 3、感度調節

#### (1) 感度調節部の目盛りの目安



感度調節器の目盛りは時計の短針にたとえて真ん中を12時(図の状態)

左真横が9時(低感度)、右真横を3時(高感度)とします。

時計方向に回すと感度が高く、反時計方向に回すと感度は低くなります。

#### (2) 感度調節部の設定位置は9時から3時の間に設定して下さい。

(特に最低や最高の設定は通常行なわないように)

(3) 出荷時は概ね1時半に合わせております。そのままの設定でもゴト電波は確実に感知しますが、携帯電話の誤作動等が多発するような時は(4)(5)を参考に再調整して下さい。

(4) 携帯電話のアンテナを伸ばし、SDS-2のアンテナの間に遮蔽物が無い状態で20~30cm位で感知するように調整して下さい。

(大体12時から1時半の間になります。)

(5) 遊戯台を閉めて通常の状態に戻し、ガラス面の0~10cm位の位置で携帯電話の発信に反応すれば調整完了です。(10cmは参考値でありこだわらなくて良い)

### 4、取扱い上の注意


(1) 感度調節部の設定位置は9時~3時の間にして下さい。最低・最高の部分は個々によるバラツキが大きくなります。

(2) アンテナ線は切断して短くしたり、延長したりしないでください。周波数帯の感知バランスが悪くなったり、感度が高くなり誤作動の原因になります。

(3) SDS-2の不正入力接続線はなるべく他の配線と一緒に束線をしないで下さい。ノイズの影響を受け易くなったり感度が不安定になることがあります。

(4) ナンバーランプ通電後又はSDS-2を接続後、約15秒間の立ち上がり時間が必要です。テストや調整を行なう場合はご注意下さい。

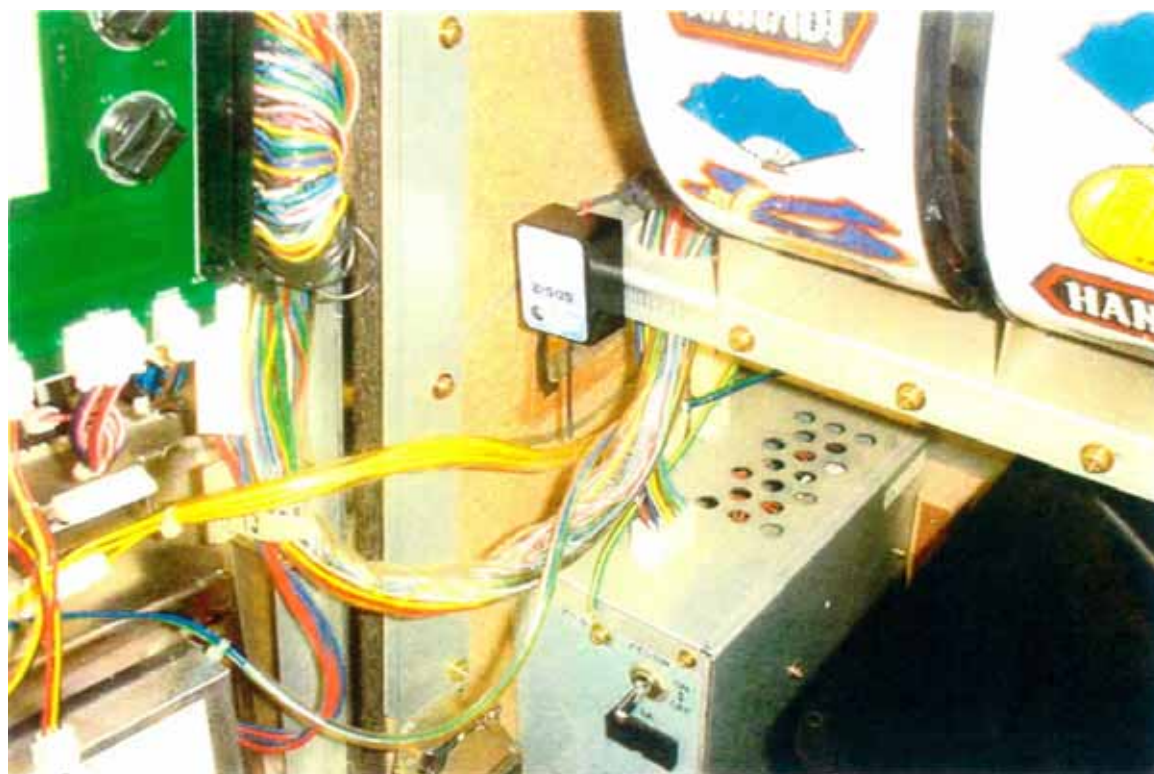
〒955-0084 新潟県三条市石上1-6-5

 **三栄実業株式会社**

TEL 0256-33-1590(代表) FAX 0256-33-1957

URL <http://www.sanei-j.co.jp>

## SDS - 2 パチスロ取付例





## SDS - 2 パチンコ取付例

